

2010年度

科目名	問題解決論			
担当教員	尾川 信之			
配当	人社3		コード	23820
開期	後期	講時	火曜日3限	単位数 2
授業テーマ	問題解決に必要な思考と技術を習得し、それらを使えるレベルにする。			
目的と概要	<p>ビジネスを推進していく過程で、様々な問題に直面することは避けられません。また、ビジネスで直面する問題には正解也没有ありません。例えば、うまく問題を乗り越えても、もっとうまく乗り越えられた解決策があったかもしれない。一方、ビジネスは時間との勝負です。解決策を見出すのに長時間かけては、見出した頃にはさらに環境変化が起きているかもしれないからです。解決策を策定するのも大切ですが、もっと大切なことはそれをしっかり実行することです。従って、問題をすばやく分析し、問題の本質を見極め、解決策を導き出す思考と技術が必要となります。単なる思いつき策では、大切な経営資源(ヒト、モノ、カネ)は投入できません。</p> <p>本授業では、問題解決に必要な論理思考、戦略思考、そしてそれらの思考の広がりや深さを論理的に組み立てていく技術を習得します。第一線で活躍ビジネスパーソンにとっては、この思考と技術は必須なものとなっています。また、グループワークを随所で行います。</p>			
成績評価法	<p>授業貢献 30点(2点×15回) レポート 20点(5点×4回、評価A:5点、評価B:3点、評価C:1点) 期末レポート 50点 単位非認定 6回以上欠席した場合、もしくは授業貢献・レポート合計点60点未満</p>			
テキスト	配付をします。			
参考書	必要に応じて紹介します。			
履修に当たっての注意・助言	複数回のレポートの提出がありますので、時間管理・計画性(ビジネスでは重要です)を持って臨んでください。			
講義計画				
<p>1. イントロダクション ～問題解決とは～ 【基礎編】 2～6. 問題解決入門 ～分解の木(ロジックツリー) 【ビジネス編】 7～8. 思考(ゼロベース思考と仮説思考) 9～11. 思考の広がりや深さを論理的に押さえる① ～MECE～ 12～13. 思考の広がりや深さを論理的に押さえる② ～ロジックツリー～ 14～15. ソリューションシステム</p>				